



HSホールディングス

2026年3月期第3四半期

決算説明資料

本資料は、当社の2026年3月期第3四半期における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	HSホールディングス株式会社 (HS Holdings Co., Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 原田泰成		
所在地	東京都港区虎ノ門五丁目11番1号 オランダヒルズ森タワーRoP1307号		
設立	1958年(昭和33年)1月21日		
資本金	12,223百万円		
グループ会社数	〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕4社		
従業員数 (臨時従業員含む)	〔グループ全体〕5,816名 (連結子会社)	(当社単体) 822名	5名
	(持分法適用関連会社)	4,989名	

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 STANDARD市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	47,915百万円

2025年12月末時点

1958年 1月	当社(協立証券(株))設立
1999年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (2016年11月より代表取締役会長に就任)
1999年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
2001年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
2004年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所STANDARD市場に株式上場 (証券コード:8699)
2006年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
2007年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継
2021年12月	澤田秀雄が当社代表取締役会長を退任し、新経営体制へ移行 HSホールディングス(株)に商号変更(2022年1月1日より)
2022年 3月	エイチ・エス証券(株)を売却

〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕4社

《関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

2025年12月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀 行	▲ ハーン銀行 (Khan Bank JSC)	49.77%
	● キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)	52.90%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	46.80%
リユース	● 株式会社STAYGOLD	100.00%
	株式会社PRICING DATA	- %
	● Happy Price Company Limited (HP香港)	100.00%
	▲ 株式会社日本オークション協会(Japan Watch Auction)	50.00%
その 他	▲ World Watch Auction Limited	25.00%
	● H.S. International (Asia) Limited	100.00%
	● HS Financial Pte. Ltd.	100.00%

※ 第1四半期末より連結子会社であった株式会社PRICING DATAは、2025年8月1日付で株式会社STAYGOLDを存続会社とする吸収合併を行いました。

PD社の株式取得及びSG社との合併に伴い、PD社の連結子会社であったHappy Price Company Limited、持分法適用関連会社であった株式会社日本オークション協会、World Watch Auction Limitedは、それぞれSG社の連結子会社、持分法適用関連会社となり、当社グループに含まれることとなりました。

〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕4社

2025年12月末時点

《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
▲ ハーン銀行 (Khan Bank JSC)	2003年 国際競争入札により株式を取得
● キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommeratsbank)	2017年 株式を取得
▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	2012年 第三者割当増資により株式を取得
● 株式会社STAYGOLD	2022年 株式を取得
● H.S. International (Asia) Limited	2008年 設立
● HS Financial Pte. Ltd.	2024年 設立
株式会社PRICING DATA	2025年 株式を取得 その後SG社による吸収合併
● Happy Price Company Limited (HP香港)	2025年 PD社の株式取得によりグループ加入
▲ 株式会社日本オークション協会 (Japan Watch Auction)	2025年 PD社の株式取得によりグループ加入
▲ World Watch Auction Limited	2025年 PD社の株式取得によりグループ加入

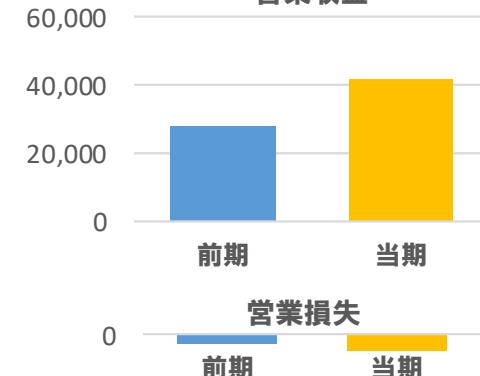
(単位:百万円)

科目	期間	2025年3月期 第3四半期 (2024年4月～2025年12月)	2026年3月期 第3四半期 (2025年4月～2025年12月)	前年同期比
営業収益		27,820	41,334	148.6%
純営業収益		6,656	8,004	120.2%
営業損失		▲425	▲736	- %
経常利益		11,599	13,211	113.9%
親会社株主に帰属する当期純利益		9,311	11,127	119.5%

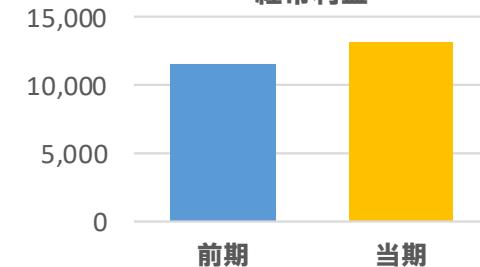
(単位:百万円)

科目	期間	2025年3月期 (2025年3月末時点)	2026年3月期 第3四半期 (2025年12月末時点)	前期末比
総資産		115,334	121,683	105.5%
純資産		86,701	93,461	107.8%
現預金		17,792	17,887	100.5%

営業収益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



連結業績変動の主な要因

■ 営業収益 27,820百万円 ⇒ 41,334百万円 + 13,514百万円

■ 純営業収益 6,656百万円 ⇒ 8,004百万円 + 1,347百万円

⇒リユース事業において、PD社の新規連結及び合併の影響もあり売上及び純営業収益は増加した。

■ 営業利益 ▲425百万円 ⇒ ▲736百万円 ▲311百万円

⇒キルギスコメリツ銀行において、融資に対する貸倒引当金計上の増加により営業損失となった。

⇒リユース事業において、連結上では、のれんや無形固定資産の償却費が発生した。

■ 経常利益 11,599百万円 ⇒ 13,211百万円 + 1,612百万円

⇒ハーン銀行及びソリッド銀行の業績好調のため、持分法投資利益が大きく増加した。(+ 1,245百万円)

■ 当期純利益 9,311百万円 ⇒ 11,127百万円 + 1,816百万円

⇒経常利益の増加額との差異は、投資有価証券売却益の発生。

2026年3月期第3四半期 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(単位:百万円)

科目\セグメント	銀行 関連事業	リユース事業	その他事業	連結
営業収益	1,859	39,464	7,484	41,334
営業収益の内訳 (外部／内部)	外 1,859 内 -	外 39,464 内 -	外 10 内 7,473	-
営業利益	▲331	115	6,898	▲736
経常利益	12,480	80	8,122	13,211

2025年3月期第3四半期 (2024年4月1日～2024年12月31日)

(単位:百万円)

科目\セグメント	銀行 関連事業	リユース事業	その他事業	連結
営業収益	2,218	25,593	6,180	27,820
営業収益の内訳 (外部／内部)	外 2,218 内 -	外 25,593 内 -	外 8 内 6,171	-
営業利益	82	▲167	5,747	▲425
経常利益	11,358	▲201	6,612	11,599

※ 営業収益の内訳(外:外部顧客に対する営業収益/内:セグメント間の内部収益又は振替高)

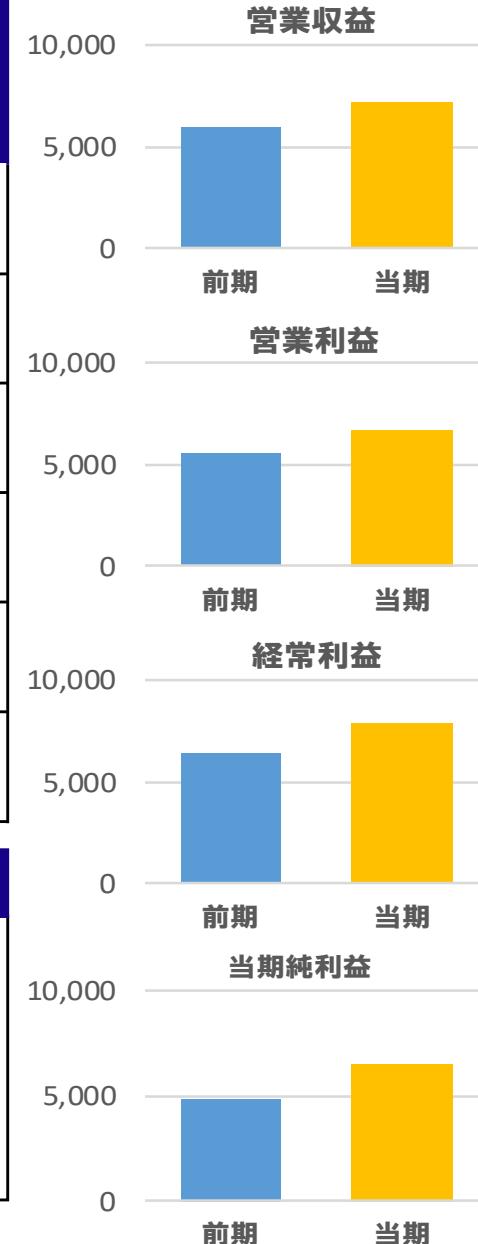
※ 連結は、セグメント間の内部収益を控除後の数値を表示。

(単位:百万円)

科目	期間	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比
営業収益		5,962	7,220	121.1%
営業利益		5,531	6,681	120.8%
経常利益		6,396	7,884	123.3%
当期純利益		4,864	6,526	134.2%
総資産 【前期末／当期末】		47,856	53,613	112.0%
純資産 【前期末／当期末】		46,956	53,282	113.5%

主な増減要因

- 当期は、関係会社からの配当金が増加したことにより、前年同期比で増収増益となった。
(関係会社からの配当金は内部取引のため、連結業績には影響しない)



商 号	ハーン銀行(Khan Bank JSC)
所 在 地	モンゴル国 ウランバートル
資 本 金	191,219百万MNT (MNT:トウグルグ)
議 決 権 の 所 有 割 合	49.77%
主 要 事 業	銀行業

科目	期間	(単位:百万MNT)		前年同期比
		2024年12月期 第3四半期	2025年12月期 第3四半期	
Interest income (資金運用収益)		1,883,848	2,135,154	113.3%
Net interest income (純資金運用収益)		916,152	982,250	107.2%
Profit for the period (当期純利益)		465,569	529,117	113.6%
Total assets (総資産) 【前期末／当期末】		20,302,725	21,927,484	108.0%

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大の商業銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のデジタルバンキングサービスを推進

概 沈

- 融資残高の増加(+24.8%)により、融資利息収入が増加 (1,281,953百万MNT → 1,622,923百万MNT +26.6%)
預金残高はほぼ横ばい(+1.8%)だが、金利上昇の影響から預金利息費用が増加 (633,954百万MNT → 659,604百万MNT +4.0%)
⇒預金利息以外の金利費用が増加した結果、純資金運用収益の増加は融資利息収入の増加より抑えられている (+7.2%)
- モンゴルの好景気による所得水準の上昇などを要因に、貸倒引当金繰入額は減少 (91,753百万MNT → 58,308百万MNT ▲36.5%)
外為取引や手数料の増加により、非金利収支は増加 (234,431百万MNT → 258,204百万MNT +10.1%)
人件費等の増加による販管費の増加 (450,466百万MNT → 524,719百万MNT +16.5%)
⇒販管費は増加しているが、貸引の減少や非金利収支の増加により、結果として、四半期純利益が増加した (+13.6%)
- 今後の中国経済の動向により、モンゴル経済ひいてはハーン銀行の業績に影響を与える可能性がある。

	2024年9月末	2025年9月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	14,991,018	15,255,674	101.8%
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	10,766,071	13,437,547	124.8%

【為替レート】
2025年9月末
1円 = 24.28MNT
2025年1月～9月平均
1円 = 23.76MNT

商 号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)
所 在 地	ロシア連邦 ウラジオストク
資 本 金	1,877百万RUB (RUB:ルーブル)
議 決 権 の 所 有 割 合	46.80%
主 要 事 業	銀行業

科目	期間	(単位:百万RUB)		前年同期比
		2024年12月期 第3四半期	2025年12月期 第3四半期	
Net interest income (純資金運用収益)		844	1,253	148.5%
Net operating income (純業務収益)		2,584	4,498	174.1%
Profit for the period (当期純利益)		1,154	2,000	173.3%
Total assets (総資産) 【前期末／当期末】		36,199	41,123	113.6%

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
 ② 日本・ロシア合弁企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概 沈

- 融資残高の増加や金利の上昇により金利収入が増加 (1,842百万RUB → 4,099百万RUB +122.5%)
 預金残高の増加や金利の上昇により金利費用が増加 (997百万RUB → 2,845百万RUB +185.2%)
- 外為取引収支の増加により非金利収支は増加 (1,955百万RUB → 4,082百万RUB +108.7%)
 ※外為取引収支の増加 (1,170百万RUB → 3,485百万RUB +197.9%)
- ロシア経済は、ロシア・ウクライナ問題を起因とする幅広い経済制裁を受けており依然としてロシア経済の先行きは不透明であり、今後、ソリッド銀行が金融制裁の対象に含まれるなど、状況によってソリッド銀行の業績に大きな影響を与える可能性がある。
 →2025年10月15日、英国の金融制裁対象リストに含まれた。今後、欧米主要国が追隨した場合、ソリッド銀行の業績に大きな影響を与えると予想される。

	2024年9月末	2025年9月末	前年同期比	【為替レート】
				2025年9月末
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	18,069	27,541	152.4%	1RUB = 1.79円
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	10,502	11,425	108.8%	2025年1月～9月平均 1RUB = 1.75円

(単位:百万KGS)

商 号	キルギスコメリツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	期間	2024年12月期 第3四半期	2025年12月期 第3四半期	前年同期比	
所 在 地	キルギス共和国 ビシュケク	科目	Net interest income (純資金運用収益)	265	273	103.0%
資 本 金	1,200百万KGS (KGS:キルギスソム)	Operating income (純業務収益)	474	138	29.3%	
議 決 権 の 所 有 割 合	52.90%	Profit for the period (当期純利益)	71	▲352	- %	
主 要 事 業	銀行業	Profit for the period (IFRS適用後当期純利益)	41	▲392	- %	
		Total assets (総資産) 【前期末／当期末】	8,460	7,748	91.6%	

会社プロフィール

- ① 中央アジアの新興国、キルギス共和国に本店を置く銀行
- ② 2017年6月、当社はキルギスコメリツ銀行の株式を取得し、当社グループの一員となる

概 情

- 第3四半期累計(9ヶ月間)の融資残高は減少傾向にあつたため金利収入は減少 (631百万KGS → 590百万KGS ▲6.4%)
預金残高の減少により金利費用は減少 (397万KGS → 336百万KGS ▲15.4%)
主に外為取引収支の減少により非金利収支は減少 (208百万KGS → 110百万KGS ▲47.2%)
- キルギスコメリツ銀行単体の業績は、2025年3月に、キルギス中央銀行の指示により追加の引当金・費用を計上しており、そのため最終損益は大幅な赤字となつた。なお、連結上、その一部は前期(2025年3月期)に取り込んでいるため、当期第3四半期の連結セグメント上の損益は上記数値とは異なります。
- キルギス経済は、サービス業や製造業を中心に景気は回復傾向にあるが、ロシア・ウクライナ問題等により今後のキルギス経済の先行きは不透明。
キルギス国の金融業は、現在、法規制等により国営銀行が競争優位にあり、キルギスコメリツ銀行の業績は依然として伸び悩んでいる。

	2024年9月末	2025年9月末	前年同期比	【為替レート】 2025年9月末 1KGS = 1.71円
Customer accounts (預金残高) (百万KGS)	5,570	5,289	95.0%	2025年1月～9月平均 1KGS = 1.70円
Loans and advances to customers (融資残高) (百万KGS)	3,597	4,318	120.1%	

(単位:百万円)

商 号	株式会社STAYGOLD	期間	2025年2月期 第3四半期	2026年2月期 第3四半期	前年同期比
		科目			
所 在 地	東京都品川区	売 上 高	25,593	35,923	140.4%
資 本 金	90百万円	営 業 利 益	442	848	191.9%
議 決 権 の 所 有 割 合	100.00%	経 常 利 益	408	825	202.3%
主 要 事 業	リユース買取卸売・小売事業	当 期 純 利 益	244	715	292.2%
		総 資 産 【前期末／当期末】	6,321	10,963	173.4%

会社プロフィール

- ① ブランド物のアパレル、アクセサリー、時計、宝飾品、貴金属などのリユース品の買取卸売や小売事業を展開。
 ② 関東、中部、近畿を中心に店舗運営。店舗買取だけでなく、宅配買取・出張買取も実施。自社オークションを通じた販売チャネルも確立。

- ・ブランドアパレル等の中古買取・販売を行う「BRING」事業
- ・ブランド貴金属や時計等を扱う「BRAND REVALUE」事業
- ・海外販路に強みを持つ「PRICING DATA」の統合による卸販売や業者仕入を展開



概 情

- 売上高は35,923百万円(前年同期比 +40.4%)。戦略通りBtoB販売を維持しつつ、店舗・ECを中心としたBtoC販売が伸長。 売上総利益は7,135百万円(前年同期比 +28.0%)。BtoC販売構成比の増加及びオークションにおけるバッグの粗利率が改善。 販管費は6,286百万円(前年同期比 +22.5%)。積極的な人員獲得による人件費の増加の一方、広告費の抑制により効率化が図られている。 営業利益は848百万円(前年同期比 +91.9%)。売上の伸長と共に、粗利率の改善も図られ、広告費の効率化も進み、営業利益は増益。
- 国内リユース市場は拡大基調を維持しており、SDGsや環境意識の高まり、インバウンド需要の回復が追い風となっている一方で、継続する物価上昇が個人消費に及ぼす影響や、金融資本市場の変動、さらには海外における景気下振れリスクなど、依然として先行き不透明な状況が続いている。

(次スライドへ続く)

(単位:百万円)

概況

- PRICING DATA社との合併により、海外販路・データ・システムの三位一体によるシナジーを創出すべく、既存事業の在庫を横断的に管理し、高回転・高利益体质への転換を図る。特に低単価商材の海外販売チャネル構築が進み、国内で滞留していた在庫を利益化する仕組みづくりが進展しており、タイでのテストセールも完了し、本格的な海外でのBtoC販売も加速させる。

	2025年2月末	2026年11月末	前年同期比
棚卸資産（在庫残高）（百万円）	2,345	4,870	207.7%

- 上記業績等はSTAYGOLD単体の数値であり、連結上は無形固定資産やのれんの償却費が計上されているため、上記数値とセグメント利益とは一致していません。
- また、前期数値にはPRICING DATA社を含んでおらず、当期PL数値には、合併後のPD社の4ヶ月間の業績が含まれております。

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行		■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、各行における第2四半期決算日(9月30日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。
キルギスコメルツ銀行	12月	■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2025年1月～9月(又は9月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
ソリッド銀行		
HS Financial		
STAYGOLD	2月	■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、第3四半期決算日(11月30日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2025年3月～11月(又は11月末時点)の状況を記載(STAYGOLD単体ベース)。

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	2024年12月期第3四半期		2025年12月期第3四半期	
		期末レート (2024年9月末)	平均レート (2024年1月～9月)	期末レート (2025年9月末)	平均レート (2025年1月～9月)
ハーン銀行 (Khan Bank JSC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円=22.28MNT	1円=21.06MNT	1円=24.28MNT	1円=23.76MNT
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) 【キルギス共和国 (Kirghiz republic)】	ソム (KGS)	1KGS=1.72円	1KGS=1.86円	1KGS=1.71円	1KGS=1.70円
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB=1.70円	1RUB=1.90円	1RUB=1.79円	1RUB=1.75円